

5/10 ラジオ体操・みんなの体操会

2700人が花フェスタに大集合

5月10日、午前6時から「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が花フェスタ記念公園音楽広場で開催されました。

特別巡回ラジオ体操は、夏休み以外の時期に全国各地でラジオ番組の生放送を行うもので、今年度は可児市が1回目の開催となりました。この模様は、



ピアノの伴奏に合わせて元気よく体操する参加者たち



会場内の参加者を体操指導する西川佳克さん(中央)

岐阜清流国体のマスコットキャラクター「ミナモ」も参加▶

NHKラジオ第1放送で全国と世界にも生放送されました。また、みんなの体操会のテレビ収録も併せて行われました。

可児市においては、平成14年5月に市政20周年記念事業として開催されて以来のことで、会場には、およそ2700人の市民が訪れました。

本番前には体操指導者西川佳克さんのユーモアあふれる進行と準備体操が行われ、心と体をほぐしていききました。その後の本番では、ラジオ体操の歌やあいさつ、「1、2、3」の掛け声が会場内に響き渡り、元気に体操を行いました。

花フェスタ記念公園では、早咲きのバラも咲き、香りを胸いっぱい深呼吸する爽やかな体操会となりました。この模様は、7月21日(火)午前9時25分〜9時30分にNHK総合テレビでも全国放送されます。



胸を反らす運動をする子どもたち

4/20 文部科学大臣表彰 創意工夫で中部中が栄誉



山田市長に受賞の喜びを報告する秋山校長(右)

4月20日、文部科学大臣表彰・創意工夫成功劣学校賞を受賞した中部中学校を代表して、秋山校長がその喜びを市長に報告しました。

同校では、以前からロボット製作活動に意欲的に取り組み、輝かしい成果を挙げてきました。中でも平成18年度には、つくば市で開催されたロボットコンテスト全国大会において、見事2部門で優勝の栄冠に輝きました。

市長は、「創意工夫というのは、モノづくりの基本です。学校の名誉とともに、何より生徒の自信につながります。」と労をねぎらいました。

4/30 野外授業に参加

春の自然観察を楽しもう



タンポポやスミレを探す児童たち

4月30日、広見小学校3年4組の児童33人が野外授業に参加しました。

講師は、市の植物に詳しい奥谷一勝さん。先に市教育委員会が刊行した「可児市の自然観察ガイドブック」を利用した授業として開かれました。児童らはガイドブックを片手に、観察場所となった広見の身隠山のふもとで、「春をみつげよう」とタンポポやスミレなどいろいろな植物を探しながら、自然と触れ合いました。

4/24~5/3 木曾川舟遊び2009春 優雅に川面から風景楽しむ

4月24日から5月3日までの10日間、「木曾川舟遊び2009春」が開かれ、船から眺める新緑を大勢の人が楽しみました。

今回で3回目となるこの催しは、川合公園内の「川合渡し湊」から「兼山瀬」までの往復約12kmを観光協会の屋形船「光秀丸」で約1時間20分かけて

遊覧するもの。

この期間、毎日午前と午後の便のほか、特別便も運航されましたが、連日ほぼ満席とにぎわいました。

途中には、炭鉱の跡や「城土の滝」と呼ばれる滝も見ることができ、普段は岸から眺めるだけの木曾川を堪能することができたと好評でした。

5/10 春の花いっぱい運動

5月10日、今年25年目を迎えた「春の花いっぱい運動」が市内各地で行われました。

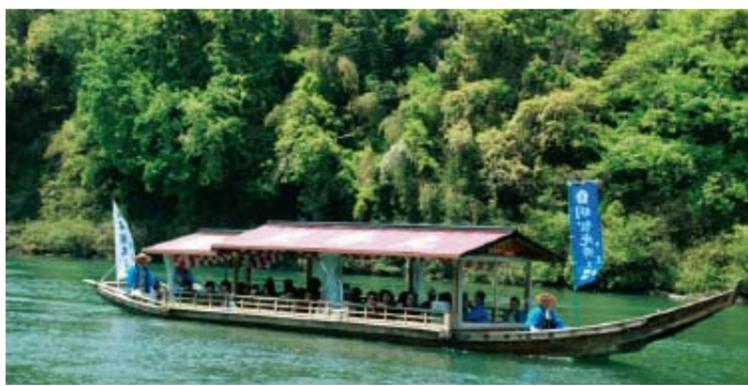
当日は、好天に恵まれ、子どもからお年寄りまで多くの人々が参加し、道路や公園などの公共施設でごみ拾いや除草作業に取り組みました。

その後は、各地の花壇にペゴニアやブルーサルビア、ニチニチソウなど約4万株の花の苗が植えられ、市内が美しく彩られました。

地域で触れ合い深める



歩道と植樹帯の清掃をする参加者



木曾川を優雅に上る屋形船「光秀丸」



「光秀丸」を安全に誘導する船頭さん



兼山瀬付近で滝を発見▶